

教え子に伝えたい言葉

一生勉強
一生青春

2回生／学部卒院生

あなた
らしく

1回生／学部卒院生

Happyは、
努力でつくれる!

2回生／現職教員院生

失敗してなんぼ

1回生／学部卒院生

相手の心の痛みが
わかる人になれ

1回生／学部卒院生

苦労は
人生の宝

2回生／現職教員院生

夢には人を
成長させる力
がある

1回生／現職教員院生

自分を理解し
強みを活かそう

2回生／現職教員院生

努力は
才能を越える

2回生／現職教員院生

一人一人が
主人公

2回生／学部卒院生

「教え子に伝えたい言葉」と「どんな教師になりたいか」を在学生に聞きました。
たくさんの方の思いの詰まった言葉をご覧ください。きっと、同じ思いの人がいるでしょう。
あなたも大阪教育大学連合教職大学院で共感できる仲間と学んでみませんか？

どんな教師になりたいか

授業の中身が
記憶に残る
教師

1回生／現職教員院生

失敗を恐れず
挑戦する教師

2回生／現職教員院生

「やってみよう」を
ひき出せる
教師

1回生／現職教員院生

子どもの力を
信じ抜ける
教師

2回生／現職教員院生

変化を恐れず
学び続ける教師

1回生／学部卒院生

互いに
学びあえる
教師

1回生／現職教員院生

子どもの
伴走者

1回生／現職教員院生

探究
し続ける
教師

2回生／現職教員院生

人の心に
火をつける
教師

2回生／現職教員院生

ひとりひとりを
大切にする教師

2回生／現職教員院生

大阪教育大学

子どもの未来を、これからの教員を。

連合教職大学院

連合教職実践研究科 高度教職開発専攻
[連合参加大学: 関西大学・近畿大学]

■スクールリーダーシップコース ■教育実践力コース
■援助ニーズ教育実践コース ■特別支援教育コース

説明会

令和3年

9.12 日

会場
天王寺キャンパスの
米場方式と
オンライン併用

11.3 祝水

会場
オンラインのみ

※コース別説明を行い、個別相談(入試、履修、奨学金等)に応じます。詳細は大学WEBページに掲載します。



入試
日程等

	1次募集	2次募集	3次募集
出願期間	令和3年7月26日(月)～8月5日(木)	令和3年10月25日(月)～11月4日(木)	令和3年12月23日(木)～令和4年1月6日(木)
入試日	令和3年9月4日(土)	令和3年11月28日(日)	令和4年2月6日(日)
合格発表	令和3年9月10日(金)	令和3年12月3日(金)	令和4年2月14日(月)

※上記入学試験で定員に満たない場合は4次募集[令和4年3月5日(土)]を実施する場合があります。

教える子に伝えたい言葉

一生勉強 一生青春

2回生/学部卒院生

本を読むこと、映画を見ること、人と関わる
こと全てに学びがある。人は、いくつになっ
ても学ぶ権利がある。それは誰のためでも、
何のためでもいい。「何を学ぶのか」「何
から学ぶのか」それはあなたが一生をかけて
見つけるもの。学びに一生懸命な人は
輝いている。

Happyは、 努力でつくれる!

2回生/現職教員院生

「楽」という言葉と「楽しい」という言葉は、
同じ漢字でも大きく意味が異なります。本
当の「楽しい(Happy)」を得るためには、努
力する過程が大切だと思います。

相手の心の痛みが わかる人になれ

1回生/学部卒院生

東日本大震災のボランティアをさせていただ
いた際、語り部の方がおっしゃった言葉
です。相手の心の中でどのような苦しさや
不安な気持ちがあるのかを理解できて、そ
の気持ちにそっと寄り添えるような人にな
ってほしいです。

夢には人を 成長させる力 がある

1回生/現職教員院生

「夢が私たちにあたえてくれるものは何だ
ろう?」と考えた授業で、子どもたちからも
らった言葉の一つです。話し合いの中で、
夢があるから前向きになれる、想像力がは
たいて希望が持てる、目標ができて頑張
れる、未来が楽しくなるという意見に感動
しました。夢を持つ素晴らしさを伝えたい
です。

努力は 才能を越える

2回生/現職教員院生

小さな努力を続けることで少しずつ夢や目
標に近づきます。そして、その積み重ねが自
分が描いていたイメージを超え、新たな無
限の可能性が広がることにつながります。
自分は才能が無いからと諦めるのではなく、
努力はその才能を超えていけるというこ
とを、子どもが実感できるように、教育を通
じて伝えたいと思っています。

あなた らしく

1回生/学部卒院生

誰しも、良いところやそうでないところ
があります。そんな“あなたらしさ”を、学校生
活を通して見つけ、それを忘れずに、むし
ろ強みにしてどんな時でも過ごして欲しい
という思いを込めました。

失敗してなんぼ

1回生/学部卒院生

子どもたちは、学年が上がるにつれてチャ
レンジしなくなるように感じます。しかし、失
敗するからこそ様々な学びや気づきにつな
がります。子ども時代は、たくさんのことに
挑戦し経験を積むことが大切です。学級内
が、「誰でも失敗はするものだ」という雰囲気
であれば、恐れずに様々なことに挑戦で
きるのではと思いました。

苦勞は 人生の宝

2回生/現職教員院生

生きていく中で、様々な苦勞や悩みに直面
します。その苦勞や悩みは、その時はとても
辛いことですが、そのことを経験したり乗り
越えたりすることで、自分自身が大きく成長
し、他の人にも優しくなれるはずで、自分
自身の殻を破りながら、大きく成長してい
くことを願っています。

自分を理解し 強みを活かそう

2回生/現職教員院生

好きなことや得意なことを大切にしてい
たいです。無理して他人と比べる必要はない
と思います。私は、小さい頃から鉄道が大
好きでした。その関係から、鉄道会社の清
掃員として働いたことがあります。しかし
と、将来の仕事につながるかもしれませ
んし、仕事を支えるぐらいの趣味になるか
もしれません。自分自身を大切に。

一人一人が 主人公

2回生/学部卒院生

みんな一人一人がかけがえのない存在で
あり、自分というものは誰かにとって代わる
ことのないこと、その人はその人だけの魅
力を必ず持っていること、自分の人生にお
いて一人一人が誰しも主人公であること
を伝えたいという思いを込めています。

どんな教師になりたいか

授業の中身が 記憶に残る 教師

1回生/現職教員院生

授業力こそが最大の教師力である。小学
校・中学校・高校の思い出はなんです
か?と尋ねた時に、子ども達が迷わず「普
段の授業」と答えるような授業を追求・追
究していきたいと思っています。

「やってみよう」を ひき出せる 教師

1回生/現職教員院生

子どもたちの未来は予想もつかない新し
いことばかりだと思います。「自分には無理
だ」と諦めてしまうのではなく、「やってみよ
う」と前向きにチャレンジできる子どもた
ちになって欲しいと思っています。だから、学
校生活のいろいろな面で、子どもたちの
「やってみよう!」をたくさん引き出せる教師
になりたいと思いました。

変化を恐れず 学び続ける教師

1回生/学部卒院生

社会とともに変化する学校教育のニーズに
答えられるよう、現状に甘んじず常に学び
続ける教師でありたいです。そのためには、
自分の意見にこだわりを持つだけではなく、
他者の意見も受け入れられる余裕を持
ち、変化を恐れず柔軟に思考することが重
要であると考えます。

子どもの 伴走者

1回生/現職教員院生

一人一人の力を最大限に発揮できるよう
に学びを支え、子どもの「成長したい」とい
う気持ちに寄り添える存在でありたい。

人の心に 火をつける 教師

2回生/現職教員院生

何でも一人でできる人が教師になるわけ
ではありません。教師にだってできないこ
とはあります。それは、子どもと同じこと
です。だけど、子どもの計り知れない可能性を見
通したとき、どんなことだって「やってみよ
う」と子ども自身の心に火をつけることが
できたのなら、それは教師冥利に尽きるとい
うものです。

失敗を恐れず 挑戦する教師

2回生/現職教員院生

うまくいかないことがあっても、すぐ諦める
のは早いと思います。どうしてうまくいかな
かったのだろうと立ち止まり、原因を突き
止め、次の策を試行錯誤することで新た
な兆しが見えるかもしれません。もしか
すると、その教師の姿勢こそが、目の前に
いる子どもたちに勇気や希望を与えられる
のかもしれない。

子どもの力を 信じ抜ける 教師

2回生/現職教員院生

子どもの成長の進度は様々ですが、可能
性は無限だと思っています。子どもの「でき
る!」「できた!」につなげるためには、子
どもの可能性を信じ、何事も諦めずに継続
することが大事だと思っています。

互いに 学びあえる 教師

1回生/現職教員院生

先生と呼ばれる仕事をしていくためには、
常に学び続ける人でありたい。教師になっ
たらゴールではない。日々研鑽、成長してい
くことが求められると思います。教師同士の
学びあいはもちろん、子どもたちから学ぶ
ことが本当に多い。いろんな人と学びあ
うことで、教師という仕事のおもしろさや楽し
さを実感することができます。

探究 し続ける 教師

2回生/現職教員院生

子どもたちとともに驚きや発見を見つけ、い
つまでも、知りたい!という気持ちを大切に
できる教師でありたいです。

ひとりひとりを 大切にする教師

2回生/現職教員院生

生徒はひとりひとり違う。当たり前のことな
のに、みんな同じように理解し、成長する
という前提で生徒に接してしまっている自分
に気づく。ひとりひとりの「違い」を大切に
することで、生徒に自分らしく生きて欲しい。
「違う!」から面白い、「違う!」から学びがある。
そんなことを伝えられる教師でありたい。



国立大学法人

大阪教育大学

学務部入試課 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL : 072-978-3323

E-mail : nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp